

# 20世紀アメリカにおける コミュニティ組織化運動の政治史

いしがみ けいこ

講師：石神 圭子 氏（福岡女子大学 講師）

参加  
無料

日時：2021年11月20日（土）13：00～

会場：熊本学園大学 新1号館みらい 3階 131教室 ※Zoom同時配信

締切：2021年11月16日（火） ※事前申し込み必要

※対面参加は、学内者および研究者のみとさせていただきます。  
※状況により、直前にオンライン開催になる可能性があります。  
※検温の結果によって、入場をお断りする可能性があります。



<プロフィール>

略歴：北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学／博士（法学）。

2012年北海道大学法学部助教、2015年北海道大学法学部講師、2016年 日本学術振興会特別研究員 RPD（東京大学）。著書に『ソール・アリンズキーとデモクラシーの挑戦 —20世紀アメリカにおけるコミュニティ組織化運動の政治史』（北海道大学出版会 2021）、『コミュニティ・オーガナイズングとリベラリズムへの挑戦 —産業地域財団による生活賃金運動をめぐる—』『アメリカ太平洋研究』第18号（2018）、『アメリカにおける連邦制の成立と発展 —20世紀後半の都市コミュニティと福祉政策をめぐるその効果—』『連邦制の逆説？ —効果的な統治制度か』（ナカニシヤ出版 2016）、（共訳）『新たなマイノリティの誕生 —声を奪われた白人労働者たち—』（弘文堂 2019）

2020年のアメリカ大統領選挙は、異例の高投票率を記録する中、民主党大統領候補バイデンが接戦を制した。新型コロナウイルス感染症対策、経済格差、そして人種問題をめぐる現職トランプとバイデンの政策方針は真っ向から対立し、全米各地でデモが頻発する中、政権移行手続きも混乱を極めた。トランプが獲得した7400万という一般投票数に触れるまでもなく、アメリカの分断・混乱は深まるばかりだ。これをもって、アメリカの民主主義は終わったという声すらあがっている。しかし、アメリカ政治のダイナミズムは大統領選挙だけに見られるわけではない。本研究会は、20世紀アメリカにおけるコミュニティ組織化運動に焦点を当て、アメリカにおける多様な市民参加の営みを紹介し、参加をめぐる民主主義のあり方を展望する。

【お申し込み方法】 ご氏名、ご所属、携帯番号、メールアドレス、参加方式（対面式もしくはZOOM）を明記のうえ  
kaigai@kumagaku.ac.jp までメールにてお申し込みください。

※お申し込み受付後に「申し込み受付完了のお知らせ」メールをお送りいたします。

【ZOOMでの参加者】 参加用URLは、開催前日までにメールにてご連絡いたします。

※「Zoom」の使用方法・操作方法などのテクニカルサポートは行いませんのでご了承ください。

問い合わせ先

熊本学園大学付属海外事情研究所（担当：学術文化課）

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 Email：[kaigai@kumagaku.ac.jp](mailto:kaigai@kumagaku.ac.jp)

TEL：096-364-8731（直通） / FAX：096-364-5201（専用）

[月～金曜日] 8：45～17：15（12：30～13：30は除く）